

[TAKUSUI]

[TAKUSUI]

[TAKUSUI]

[TAKUSUI]

[TAKUSUI]

鮎

12

DECEMBER
1995



インフォメーション

第5回全国漁業協同組合大会

“海と暮らしを豊かにする漁村の創造”
をめざして

No.470



季節の香

かおり

【枯れ蓮】

淡紅色の花が大きな葉の間から顔を覗かせていた。瑞々しい見事な花だった。トンボを追った子が一匹捕まえた嬉しいう声をあげた。強い日差しの中の初めだった。季は移り、冷たい風が容赦なく膚を刺し、散った木の葉が波紋を広げる。

俳句には枯木立や枯芦など、枯れた風情を詠む季語が多く、枯蓮もその一つ。冬の深まりに、草木はことごとく枯れ果て冬の姿となる。池畔のススキは蓬け、風の勢いに任せきった感じだ。

ハスの葉も荒れ寂び、水面に垂れ下がる。茎ばかりとなってへし曲がり、あるいは枯れて折れ伏し、風にかサカサ鳴る。やがて、水に没して泥に沈んでしまう。しかし、その根には翌年に芽生える準備が出来上がっている。年迎えの料理にもなるレンコンである。

COLUMN

◆食堂の入口に並んだ料理サンプルは、美によく出来ていて感心する。食欲をそそるように艶々して旨そうに見せている。客は嬉々気にアレコレやと品選びをする。料理の見本は食べられないが、コピーされた食品は実際に口に入る。マーガリンや魚肉ソーセージは、当初はバターやソーセージの代用品としてコピーされたものだ。今では食生活に馴染み本物として通用している。

◆コピー食品の代表格は、イクラ風味の魚卵とカニ蒲鉾である。そ

ニセもの罷り通る

れらしく色づけされ、本物よりも生臭さが少なく味も良いと好評だ。即席ラーメンも今ではより本物に近くなって、付加価値をつけ主役もこなせる力量である。野菜では雑種F1が作られ新しいものが増え、臭みのないトマトや色のある白菜などニュー野菜と呼ばれる見事な出来映えである。

◆身の回りをニセものが跳梁し、それと気づかずに使っているものが随分と多くなった。樹脂や化学繊維やコピー食品が自家素材に比べて代わり、堂々と罷り通っているのである。本物がニセものに駆逐され、すっかり地盤を明け渡した

ものも多い。衣食住のすべてについて本物がどれたけ残っているか探してみるのも面白いことだろうが、何が本物でどれがニセ物か見極めるのも難しいのではないか。

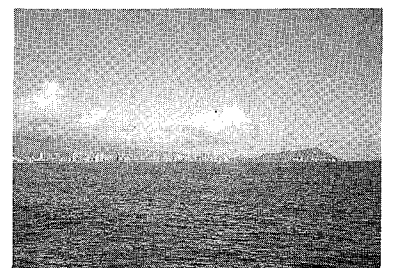
◆化学繊維を着て、コピー食品を食べ、樹脂製建材で出来た家に住む。自動車にも硬質樹脂が多く使われ、金属のような顔で澄ましている。人工の心臓が活躍する時代だから、それが堂々としておれば、本物がニセ物かの区別がつかない。多くのニセ物に取り巻かれているのも、近代的な痛快事というべきなのかも知れない。(遊方子)

拓水 DECEMBER CONTENTS

季節の香	2
枯れ蓮	
COLUMN	3
ニセもの罷り通る	
ESSAY	4
週休2日制に想うこと 山里 昌幸	
基金協会情報	
漁協債権保全のため漁業信用保証の活用	
水試ノート	5
オニオコゼ稚魚期の成長について	
インフォメーション	6
第5回全国漁業協同組合大会 “海と暮らしを豊かにする漁村の創造” をめざして 信漁連にATM設置 冬期の強風と高波	
漁海況情報	10
海区漁業調整だより	
TOPICS	12
平成7年度地区別漁協役員研修会を開催 平成7年度ガザミふやそう会連絡協議会を開催	
栽培漁業センターです	13
普及員だより	
労働環境を診断してみましょう	
旬の美味しい話	15
タチウオの串フライ	
兵庫JCC通信	
広がるボランティア ふるさとの味をどうぞみなみ波賀特産館	
こちら海ですロケだより	
但馬においてヨノ 湯けむり 浜坂 カニ祭り ～美方郡浜坂町より～	

今月の表紙

フォトギャラリー



表紙写真
石塚朋文さん
〈県漁連〉

フォト歳時記

船旅は快適だった。波も穏やかに島へ近づく。ホノルル/ワイキキの浜/獅子が伏せた形のダイヤモンド・ヘッドが指呼の間に迫る。太平洋の楽園と謳われ、周年観光客で賑わう。

ホノルルは米合衆国五十番目のハワイ州の州都、日系人も多い。ハイビスカスやブルーゲンビルアが華やかに咲く。海岸にはヤシが育ち、サンゴ礁の海が青い。木枯らし冷たい日本の国から見れば、まさに楽園/常夏の花の島だ。

旅の喜びは「未知との遭遇」である。違った風景に出会い、その地の文化に触れ、違った考え方を知り見聞を広める。「何でも見てやろう」の心意気である。

表紙写真募集

アマチュアの方で、ご自慢の写真がございましたら、左のように明記してお送り下さい。写真は必ずご返却いたします。①写真撮影場所②氏名(フリガナ)③郵便番号・住所④自宅電話番号(市外局番号も)⑤年齢・職業

送り先

〒六五二 神戸市兵庫区中之島二丁目
二一 県立水産会館
兵庫県漁業協同組合連合会
指導部指導課「拓水」係宛

週休2日制に想うこと

兵庫県漁業信用基金協会

参事 山里 昌幸



台程度であった。

以後昼夜を問わず仕事に従事、私の小学校四年生のときに独立、瓦製造業の経営を始めたが、その時を境に私の生活も一変することとなった。

私は学生時代、青春時代を通じて遊んだという記憶はまったくなく、中学時代は授業が終わると皆がグラウンドでクラブ活動を行っているのを尻目にまっすぐ帰宅し、暗くなるまで仕事を手伝ったものである。

高校も、商売上必要と商業高校に入部、唯一行ったクラブ活動も簿記部に入部、一年間活動を行ったが二年生になるとまたクラブ活動をやめ、仕事を手伝うこととなる。従って、中学、高校を通じ卒業アルバムのクラブ活動の箇所には私の写真は一枚も写っておりません。

学校を卒業しても当然家業を継ぐこととなるが、当時の事業には日曜も祝日もなく、一年のうち休日は正月三日、盆二日の五日しかなく、朝暗いうちから夜暗くなるまで(ひどいときには朝四時頃から夜十二時頃まで)仕事一色の生活であった。

しかしながら、瓦経営も世代が代わりつつあり若い経営者が増えてきたことにより、瓦事業協同組合において休日設けるべく検討され、毎月一日と十五日の月二回の休日設けることとなった。しかしながら通達だけではなかなか守られず、休んでいる事業所と仕事をしている事業所ができたためこのままでは徹底できないと罰金まで取って徹底させたものである。それでも我家は一日でも休むのが勿体ないと、戸を締め中でこっそりと仕事をしていた記憶がある。

このように私の青春時代は映画、喫茶は勿論遊びというものをした記憶は一切ありませんが、しかしながら当時それがあたりまえのように感じ、仕事にのみ打ち込んでいたせいか苦痛に思ったことは一度もありませんでした。

近年生活にゆとりが出来たことにより、心と身体にゆとりをもたせるため週休二日制が検討され大部分の企業が実施しているが、思惑に反し、オウム教団事件や、拳銃による一般市民殺傷事件等殺伐とした事件が多いのは如何なものか、今の世の中生活と身体はゆとりが出来たが反対に物が多種多様化したことにもより、一心に打ち込む気持ちがなくなり心のゆとりがもてなくなったのではなからうか、人の物真似ばかりではなく自分で自分が一心に打ち込めるものを早く見つけ不潔、不潔、不潔不従の精神でいきたいものである。

基金協会情報

漁業信用保証の活用

バブル崩壊後我が国の経済は、衰退の一途をたどり景気は後退し、特に金融機関は金融自由化と相俟って大打撃を受け多額の不良債権を抱える銀行の倒産が相次ぐという厳しい経営状態となり、政府はてこ入れ策として相次ぐ公定歩合の引き下げを行い、史上最低の水準となりました。

これに連動して預金金利も大幅に低下し、運用収益が大半を占めている協会運営は平成六年度創立以来初めて内部留保金を取り崩すという異常事態となりました。

保証残高は漁業近代化資金の原則保証に伴い大幅な伸びを示し、職員一人あたりの保有残高は全国基金協会のトップクラスとなり職員の補充が必要となっておりますが、近年の金利情勢では職員採用もままならない状態であり、会員の皆様にはご迷惑をお掛けしております。

当分金利上昇は見込めず数年は内部留保金を取り崩さざるを得ない厳しい経営が続くものと思われる。

このような状況により、平成七年十月一日より保証料徴収額の見直しをさせていただきましたが諸般の事情を勘案してご理解御協力をいただきましたたくよろしくお願ひします。

オニオコゼ稚魚期の成長について

オニオコゼは高級魚として取引され、市場価値が高いため早くから栽培漁業の対象魚種として注目されてきました。一九七六(昭和五十一年)年から瀬戸内海栽培漁業協会(現・日本栽培漁業協会)で種苗生産試験が始まり、一九八〇年代前半(昭和五十年代後半)から本格的に、他の試験研究機関でも事業化への取り組みがなされてきたようです。事業化にあたっては、孵化後の浮遊期を経て、体色

が変化して底生生活に入った「着底魚」を得ることが一つの目標となり、今までにその生産尾数が十萬尾を超えた事例も報告されています。

しかしながら、種苗生産試験が開始されてから二十年を経過しようとしているにもかかわらず、今だ事業化には至っておらず、着底後の飼育状況や成長等に関する情報は不足しています。

ここでは、種苗生産試験で得られた着底魚を、一年間にわたり飼育してみましたので、その成長過程についてお話しします。

飼育試験には、一九九一(平成三年)度に兵庫県栽培漁業センターで種苗生産された着底魚の一部を用いました。親魚は兵庫県明石浦漁業協同組合で小型底曳き網により漁獲された天然魚です。孵化仔魚をアルテミア幼生と配合飼料を用い

て着底まで飼育し、着底した個体から順次取り上げて、一トンの黒色水槽に設置した円形の網生簀に収容しました。網生簀は、収容当初二百四十粒のモシ網を用い、成長するに従い、目合いを百八十粒、百三十粒と大きくしていきました。

仔魚期の全長測定結果を第一図に示しました。孵化直後全長約三ミリの仔魚は、約二週間で全長十ミリ前後となり、着底します。

飼育試験に用いた着底魚は一万二百九十尾ですが、飼育途中、七千五百尾を漁協等へ配布しました。その結果、最終生残尾数は千四百三十三尾、また配布尾数を除いた生残率は四十二％でした。また全長三十ミリを超えてからの生残率は九十三・一％を示し、このサイズ以降は疾病の発生がない限り、ほとんど減耗せずに飼育できることがわかりました。

第二図に、飼育期間中の水温と成長の様子を示しました。飼育水温が十五度以下となる十二月上旬までは、活発な摂餌状況と良好な成長を示しますが、水温の低下にしたがって摂餌量が低下し、十度を下回るとほとんど摂餌しなくなって成長も停滞します。稚魚が良好な成長を示すのは水温十五度以上、また最適飼育水温は概ね十八度以上というところでしょうか。

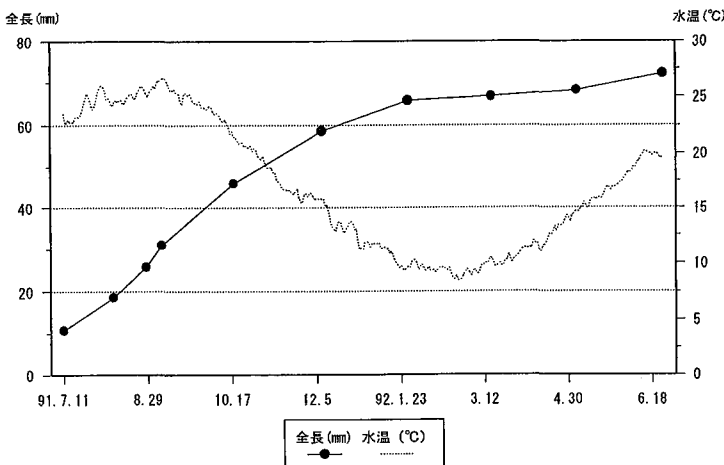
NOTE

配合飼料を用いた他の飼育例では、孵化後百七十四日で全長六十一・八ミリ、あるいは約二百日で全長四十九・五十四ミリまで成長した報告があります。配合飼料を用いた飼育試験では、今回の試験結果もオニオコゼ稚魚の平均的な成長を示しているのかもしれない。

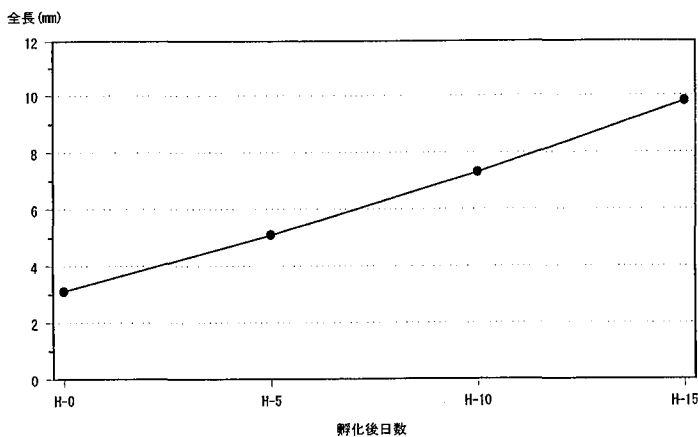
飼育途中、特に飼育水温が二十五度を超えるような場合には、疾病が多発する傾向があります。今回の飼育でも、網生簀への収容後二十日目頃から、体表に糸状菌や寄生虫の付着が観察され、摂餌量が低下する状況が見受けられました。直接の死亡原因に至らないまでも、これらが成長に影響を及ぼした可能性も否定できません。

きません。飼育当初網生簀の使用は、配合飼料単独飼育への移行までは非常に有効な飼育方法であると考えられますが、網生簀を用いた飼育には疾病が発生しやすい傾向が見受けられるため、疾病対策という点を考慮すると、できるだけ速やかに水槽での直接飼育に移行した方が望ましいと思われます。

オニオコゼ稚魚の飼育報告例は少ないため、今回の飼育結果が良好な飼育条件下で得られたものかどうかは不明です。飼育方法もまだ改良途中で、配合飼料のほかにモイストペレットを用いた飼育の有効性も報告されており、より効率的な飼育技術の開発が望まれます。



第1図 オニオコゼ稚魚の成長



第2図 飼育水温と稚魚の成長

第5回全国漁業協同組合大会

“海と暮らしを豊かにする 漁村の創造”をめざして

200海里全面適用漁業経営危機突破
全国漁民大会の名のもと「特別決議」

平成七年十一月二十一日、第五回全国漁業協同組合大会（全漁連主催）が東京・日比谷公会堂で開催され、全国から漁協関係者約二千名が集結し、一九九六年度から向こう三年間の漁協系統全体の運動方針と政策課題への取り組みなど基本方



向を決定しました。また、緊急動議により「二百海里全面適用漁業経営危機突破全国漁民大会」の名のもと「特別決議」を満場の拍手で採択しました。

今大会は、第一部の式典と第二部の大会議事とに分けて構成され、第一部の式典は植村全漁連副会長の開会の辞で幕を開け、冒頭、漁協系統関係物故者に参加者全員で黙とうを捧げた後、日高運営委員長（全漁連会長）が「国連海洋法条約の発効、国際協同組合同盟設立百周年記念大会における協同組合原則の改訂など大きな時代変化を迎える中で、我が国漁業は国際的漁業規制強化、周辺水域の資源水準の低下、就業者の減少・高齢化、輸入水産物急増による魚価低迷などで漁業経営は極めて深刻な事態に立ち至り、

漁村地域の活力低下を招来している。漁協経営も総じて苦しく、漁協の二十九％が赤字に陥るなどかつてない危機に直面している。」と、我が国漁業と漁協系統組織が今まさに直面する危機存続の状況を訴えました。また、大会提案議案に関して「第一に、二百海里の全面適用なくして我が国漁業の将来像を描くことはできず、この実現に総力を挙げ、重大な決意で臨む。第二に、食料自給率の向上を目的し、資源管理型漁業と低コスト型漁業に不断の努力が重要。協同の虹の旗のもと、組合員の協力の心と力を漁協に結集し、活力ある漁業と漁村の構築に英知を傾注し取り組まなければならない。第三に、漁村の中核的役割はさらに大きく、真に組合員の付託に応えうる、強靱な組織と揺るぎのない経営基盤の確立が急がれる」と所信を述べられました。

続いて、村山内閣総理大臣からのメッセージを紹介。来賓挨拶では、野呂田農林水産大臣、豊田全国農協中央会長、角道農林中央金庫理事長、竹本日本生協連会長がそれぞれ祝辞を述べられました。

引き続き行われた優良漁協表彰式では、本県から神戸市漁協が農林水産大臣賞及び全漁連会長賞を受賞しました。

第二部の大会議事では、議長団を選出して議事に入り、まず、隅山全漁連専務が「一九三〇九五漁協運動方針の実践状況」の報告を行い、続いて菅原全漁連専務が「一九六〇九八年度漁協運動方針」（案）の重点目標と実践課題、漁協運動を推進す



表彰式での山田・神戸市漁協組合長

るための政策課題の説明を行いました。これに対して漁協組合長、漁協婦人部、漁協青壮年部の団体代表四名が意見表明した後、運動方針の採択を会場に諮り満場一致で採択されました。

引き続き「特別決議」の上程に移る際、会場から「緊急動議あり」との発言があり、本県の吉岡香住町漁協組合長、中庭長崎県漁業連会長が「二百海里排他的経済水域の完全実施、漁業基本法の制定、漁業・漁村活性化への基金創設を」と強く訴え、特別決議は「全国漁民大会の名において決議することを求めた。

二名の緊急動議発言を受け議長団は「全漁民の総意のもと『二百海里全面適用漁業経営危機突破全国漁民大会』の名において決議する」ことで動議の採択を



「緊急動議」を発言する吉岡・香住町漁協組合長

諮り、満場一致の拍手で決定しました。

「二百海里体制の確立と漁業・漁村活性化に関する特別議案」は、高岩石川県西海漁協組合長より朗読が行われ、満場一致で採択されました。生明全漁連常務より、大会閉会後ただちに代表団を組織し村山総理をはじめ政府、国会などに対し大会決議の実現を求める強力な陳情要請を行うことの提案があり、拍手で決議実行策を決めました。

こうして採択された今大会の運動方針は、「海と暮らしを豊かにする漁村の創造」をめざして

①海洋新秩序に向けた漁業の構築と漁協経営の安定化「豊かな海づくり」

②漁協運動の充実と地域社会への貢献「豊かな地域づくり」

③漁協経営基盤の確立と人材育成「豊かな人づくり」

の三つを基本テーマに掲げ、この基本テーマをもとに九つの実践課題（別掲）を提起しています。

全国漁民大会の名において採択された特別決議は、

①国連海洋法条約の批准に併せて、二百海里排他的経済水域を完全実施すること。

②漁業を食料産業として位置付けるため、漁業基本法を制定すること。

③漁業・漁村の活性化を図るため、生産・流通・漁業経営・地域振興・漁協機能整備に関する諸対策を集中的・総合的に実施するとともに、その効果的推進のため基金創設を図ること。

の三つの事項を実現するよう、全漁民の総意をもって強く要請しています。

最後に、藤田全漁連副会長（石川県漁連会長）の閉会の辞で無事、大会の幕を閉じました。

なお、本県からは、小川県漁連会長をはじめ、漁協組合長、系統団体常勤役員など四十七人が参加いたしました。

（この部分の文章は上記の文脈から推測され、本文中には明確な記述がなかったため、補完的に記載しています。）



“海と暮らしを豊かにする漁村の創造”をめざして
『96-98年度漁協の運動方針』

1. 海洋新秩序に向けた漁業の構築と漁業経営の安定化【豊かな海づくり】
2. 漁協運動の充実と地域社会への貢献【豊かな地域づくり】
3. 漁協経営基盤の確立と人材の育成【豊かな組織・人づくり】

3つのテーマと9つの実践課題

テーマ1 豊かな海づくり

漁協系統は、国連海洋法条約に対応して、従来の漁業のあり方を抜本的に見直し、国際的資源管理時代に即応した漁業を構築するとともに、漁業経営の安定を図るため、魚価安定・加工・販売対策を推進する。

実践課題

1. 魚価安定と加工・販売対策の推進
2. 資源管理組織の機能強化と低コスト型漁業への転換
3. 資源管理・環境保全・食料確保のための民間外交の推進

テーマ2 豊かな地域づくり

漁村の中核となる漁協は、地域住民の理解と協力の輪を広げ、漁協運動の充実を図る。併せて、農協・生協・森林組合等との交流を促進し、地域水産物の消費拡大、助け合う漁村づくりや環境保全運動などに積極的に取り組み、地域社会への貢献に努める。

実践課題

1. 協同組合間提携の促進
2. ゆとりある暮らしと助け合う漁村づくり
3. 森と川と海をつなぐ環境保全運動の推進

テーマ3 豊かな組織・人づくり

組合員の暮らしと経営の安定に寄与するため、地域の将来像を想定した“中長期ビジョン”や“漁協の中期経営計画”の策定を進め、漁協の合併・事業統合を計画的に推進する。さらに、組織の活性化に向け漁協系統の人づくり・“青年・女性層の漁協運営への共同参画”を強力に推進する。

実践課題

1. 漁協の合併・事業統合の計画的促進
2. 漁協系統の人づくりの推進
3. 漁協の民主的運営の確保

信漁連に ATM設置

信漁連では、去る十一月十六日にATM（貯金自動預け払い機）による貯金の取り扱いをスタートさせ、皆様に便利にご利用いただけるようになりました。



ATMの設置は兵庫県下では、香住町漁協、坊勢漁協に続いて三台目になります。

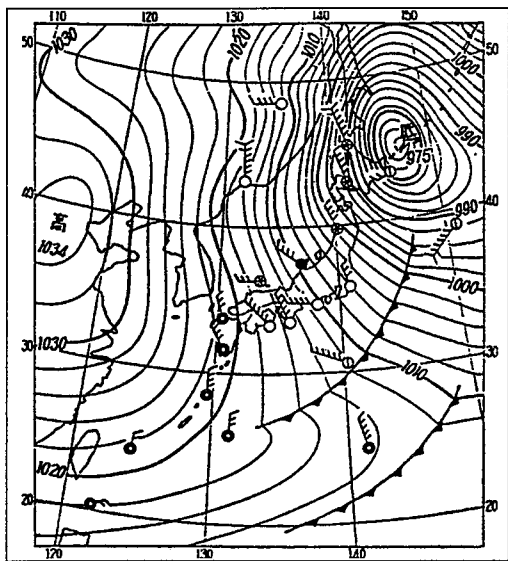
現在、漁協系統の信用事業においては、全国漁協オンラインをもとに、他の金融機関より大幅に遅れている金融機能を充実させ、組合員をはじめとするご利用者に便利に使ってもらおうとする運動を進めています。

全国でのオンライン化店舗は、十月末で千二百四十店舗となっており、そのうちの八百九十七店舗と北海道の漁協・信漁連（ATM等は百六十九台）及び農林中央金庫において漁協キャッシュカードが相互に利用できるようになっていきます。今後ますます輪を広げ、将来的には農協・銀行等との提携により一層便利にご利用いただけることを目指しているところです。

冬期の強風と高波

舞鶴海洋気象台予報課 予報官 山本 武志

日本付近を通過した低気圧が東海上で発達し、大陸からはシベリア高気圧が優勢になって張り出すと、西高東低の気圧配置が形成されます。日本付近では、北西の季節風が吹きだし、シベリア大陸で出来た寒気団が南下してきます。強い寒気が南下するほど低気圧が発達し冬型を強めます。天気図（第一図）を見ると等圧線が南北に走り、間隔が狭くなっています。天気図上の等圧線の込み具合を気圧の傾きと言い、間隔が狭いほど気圧の傾きが大きく、水が高いところから低い方へ流れるように、空気も気圧の傾きに比例する速さで、気圧の高いところから



第1図 西高東低の気圧配置

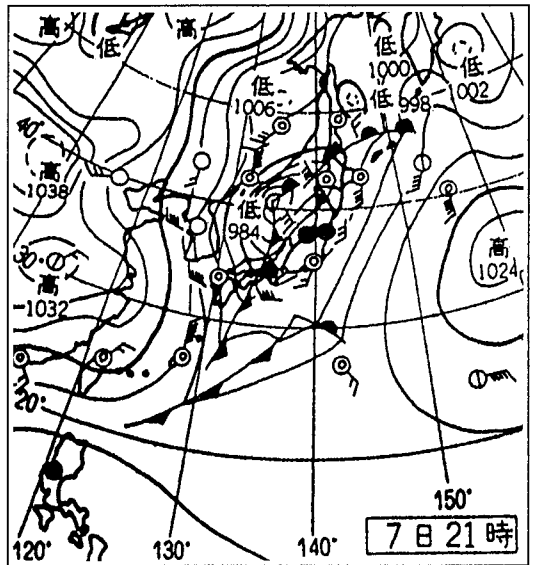
低い方へ流れます。したがって気圧の傾きが大きいほど強風となります。経度の間隔が十度（日本付近で約一千キロ）で東西の気圧差が二十ヘクトパスカルあると、海上では十五〜二十m/sの強風が予想されます。

冬のあらし

（一）日本海を発達した低気圧が通過する際に、強い南よりの風が吹き荒れ、通過した後も強い北西の季節風が吹き出し、暴風雪となりしばしば暴風や波浪の警報が発表されます。天気図（第二図）は今年

の十一月七日〜八日にかけて、日本海を低気圧が猛烈に発達して北東進し、樺太付近で台風並の九百四十六ヘクトパスカルまで発達した例です。

舞鶴では最大瞬間風速が西南西二十二・五m/sを観測し、海上では二十五m/s以上の西ないし北西の暴風が吹き荒れ、各地で強風と高波による被害が発生しました。この様に、初冬に真冬並の寒気が南下し、暴風が吹き荒れる事もある



第2図 日本海低気圧
(1995年11月7日21時)

ので注意が必要です。

(二) 日本海西部に発生する小低気圧

本州付近を低気圧が発達しながら通過し、その後面に寒気が入り込むと冬型の気圧配置となるが一日か二日すると、日本海で等圧線が袋状になりこの中にごく小さな低気圧ができることがあります。この小さな低気圧は気象レーダーで見ると渦状エコーを持っており、気象衛星では渦状雲として見る事ができ、大きさは二百〜五百キロメートルのことが多く、衛星の無い昔は風の急変しか観測できなかったため、二次前線とも呼ばれていました。この低気圧は規模は小さいけれど急速に発達し、発達した段階で西側に寒気が流入し、風向や風速が急変します。このため、突風が起こり海上では風向の急変で三角波が発生します。また、西風は低気圧周辺の風と低気圧の移動速度が一緒になり特に強まるので警戒が必要であります。また、この低気圧に伴って大

雪になることもあります。

一九七一年一月四日の夜

日本海西部のウツリヨウ島付近で発生した九百九十八ヘクトパスカルの小低気圧が発達しながら東南東に進んで隠岐諸島付近を通過しました。このため、松江で最大瞬間風速三十四m/s、萩市の沖合の見守灯台で八・三メートルの波を観測し、暴風と高波によって死者・行方不明十七人を出した。また、島根県では、漁船千八百隻が流失・破損し、堤防などに被害が続出しました。天気図

(第三図)

一九八六年十二月二十八日午後五時過ぎ、豆台風に似た小低気圧が山陰沖を発達して東進したため突風が吹き、兵庫県の香住町のJR余部鉄橋から列車が転落しました。橋上の最大瞬間風速は三十五〜四十五m/sもあり、死傷者十二人を出す大惨事となりました。

季節風に伴う高波

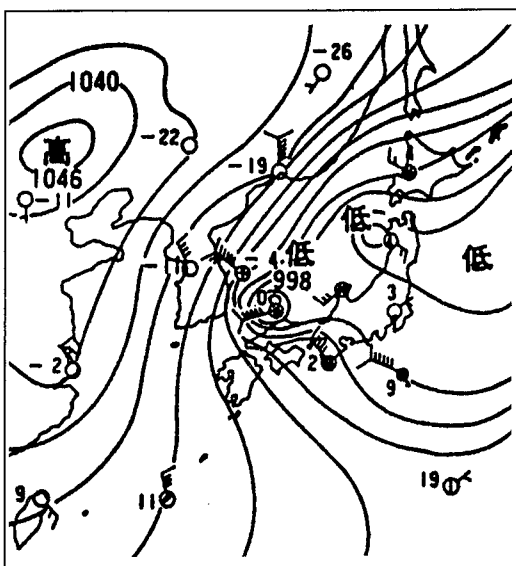
季節風は、ほぼ同じ方向からの風が定期的に吹いて、かなり長時間にわたるため大きな風浪を生じ、また吹走距離が長く吹続時間も数十時間に及ぶため、ある一定の風速に対して十分発達しきった状態の風浪が形成されやすい。

ウィルソン等の公式によると、風速十五m/sが半日ぐらい一定の方向から吹くと約三・五メートル前後の波高になり、

一日以上続くと五メートルを超える高波に発達します。

一般に発表される波高は、有義波高(三分の一最大波高のことで、観測した波の高い方から三分の一を平均した統計上の波)で目視で観測した値とほぼ同じになります。有義波高をとした場合、百波に一回は一・五倍、千波に一回は二倍に近い高波が出現する可能性があります。

前項で触れた、今年の立冬にかけて暴風が吹き荒れた時の「経ヶ岬」沿岸波浪計の波高記録から見ると、沖合で西ないし北西の風が十五m/s以上と強まってくると、今まで〇・五メートル程度の波が四〜五時間で波高四メートルと急速に高くなりました。また、有義波高の最大は六・五メートルに達し、最大波高は十二・二メートルとなり十一月では観測以来の最高を記録しました。また、日本海ブイ(北緯三十七・九度、東経百二十四・

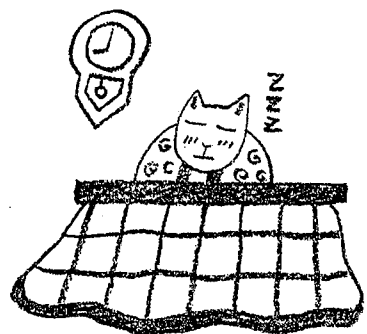


第3図 日本海西部の小低気圧
(1971年1月4日9時)

五度)の記録では、有義波高の最大は七メートルを超えました。この様に、風速の強まりと共に波は急速に高くなってきます。

これから、冬期に向かい日本海を低気圧が発達しながら東進し、その後冬型の気圧配置が強まる日が多くなってきます。また、冬型が緩んできたところで、しばしば日本海西部に小低気圧が発生し急速に発達し、暴風になることがあるので特に注意が必要です。

以上のことから地元気象台の発表する、強風や波浪の注・警報、また舞鶴海洋気象台の発表する海上予・警報には日頃から十分注意を払って下さい。



TOPICS

平成7年度 地区別漁協役員研修会 を開催

摂津・播磨地区並びに淡路地区において、平成七年度地区別漁協役員研修会（主催／兵庫県漁連、共催／財兵庫県水産振興基金）が開催されました。

摂津・播磨地区は、十一月二十五日（土）に姫路市の播磨漁友会館において、漁協役員等七十一名の参加のもと、また淡路地区は同月三十日（木）に津名町のしづのおだまき館において、漁協役員等六十一名の参加のもと、それぞれ開催されました。

この研修会は、漁協役員員の知識の高揚を図り、もって漁協の健全な発展に資することを



講演をされる田尾氏



講演をされる古谷氏

目的に、毎年行われております。

本年度は、「漁協経営」を共通テーマとして、漁協経営センター専務取締役の田尾直之氏より、「これからの漁協経営について」と題してご講演いただきました。

ご講演では、これまでの漁協の歴史を踏まえ、今後の漁協経営の方向性とこれに携わる役員等の責務など、北海道指導連での参事時代の体験談を交えながら、貴重なお話をいただきました。

続いて、地区別のテーマとして、摂津・播磨地区では、愛媛県遊子漁業協同組合の古谷和夫組合長より「遊子漁協の経営について」と題してご講演をいただき、その昔、イワシ網の不振から再建組合であった同漁協を養殖漁業へと転換し、更に漁協経営を維持させていく中での体験談をもとに、漁業行使の平等性、営漁計画並びに協同意識の重要性など、実践に基づいたお話でした。

また、淡路地区では、香川県水産試験場主任研究員香川哲氏より「香川県における資源管理型漁業の取組みについて」と題してご講演

演をいただき、庵治漁協において実施している小型底びき網漁業の資源管理内容を紹介され、特に全国にさきかけ週休二日制を導入することになった経緯や実施後の成果として資源の有効利用、魚価の安定及び漁場の荒廃防止等を挙げられました。更に今後の課題として、取組みをより一層充実させるためにも、実践している底びき網漁業者と漁協との迅速な情報の共有が必要であり、これを繋ぐパイプ役として漁協役員員の役割が大きな鍵を握っているとの内容でした。

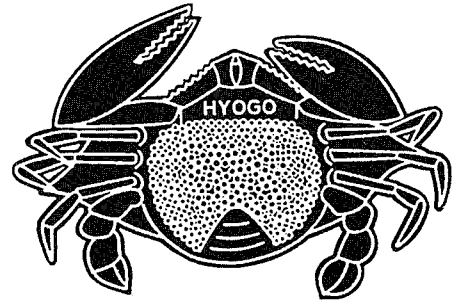
どちらの研修会も非常に興味深い内容で、出席者たちは真剣な面持ちで講演に耳を傾け、熱心にメモを取る姿も見受けられました。漁業環境が目まぐるしく変貌し、漁協経営がますます難しくなっている現況において、これからご教示いただいた内容を漁協役員が一丸となって、今後の漁協経営に役立てていきたいものです。

なお、但馬地区につきましては、平成八年二月二日香住町漁業協同組合において開催する予定にしております。



講演をされる香川氏

ガザミ



平成7年度 ガザミふやそう会 連絡協議会を開催

去る十一月二十二日、播磨漁友会館において、岡山、山口、香川、徳島、兵庫の各県からの六十名の参加のもと、「平成七年度ガザミふやそう会連絡協議会」が開催されました。

この協議会は、平成三年にガザミふやそう会が五周年記念事業として開催した「ガザミサミット」をきっかけに、瀬戸内海などでガザミの資源増殖・管理に取り組む仲間同士の

連携を図るための意見、情報の交換の場として平成五年に発足し、本年度で三年目を迎えます。

当日は、まず開会に際して協議会の代表を務めるガザミふやそう会の星尾会長の主催者挨拶の後、来賓を代表して水産庁瀬戸内海漁業調整事務所の佐々木資源保護管理指導官、兵庫県漁連の青専務のご挨拶をいただき、その後、意見交換会に移りました。

意見交換会では、社団法人 日本栽培漁業協会玉野事業場の関谷場長を座長として、各



府県におけるガザミ資源増殖・管理活動の取り組みについて報告、兵庫県漁業士会の小南会長による「ガザミ漁の昔と今」というテーマの話題提供の後、活動の問題点と今後の展望について、活発な意見交換がなされ、それぞれの地域で抱えている問題や課題などをお互いに出し合いました。

また、意見交換会終了後の懇親会では、水

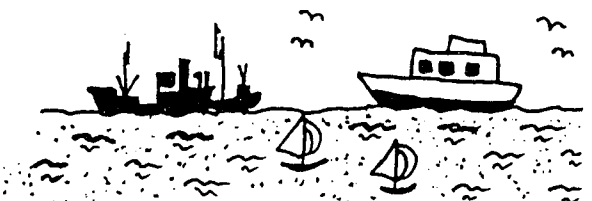
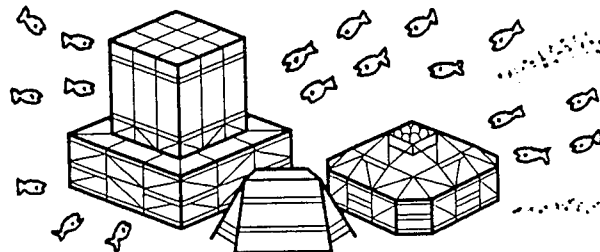


産庁瀬戸内海漁業調整事務所の森資源課長の音頭による乾杯で始まり、ガザミ、シャコ、エビ、カキなど、手作りの海の幸の料理を着に各出席者とも大いに交流を深めていきました。懇親会は終始なごやかなムードで進行し、最後には次回の開催地である徳島県・小松島漁協ガザミふやそう会の亀和会長による万歳三唱により幕を閉じました。

最後になりましたが、それぞれの地域において、活動資金の調達や活動の効果判定など、一朝一夕にはいかない難しい課題をそれぞれ抱えているようですが、今後ともこの協議会を重ねていき、その中で連携を深めつつ、これらの課題を一つずつでも解決できることを期待しております。



躍動する海 活動する 神鋼 鋼製魚礁

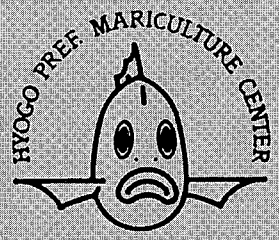


神戸製鋼グループの魚礁メーカー

神鋼建材工業株式会社

本社 〒660 兵庫県尼崎市丸島町46番地

TEL (06)418-3797 FAX (06)418-2423

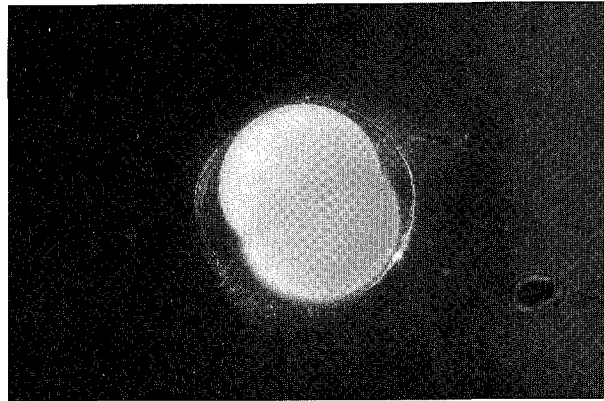


栽培漁業センターです

87

高価な貝と聞いてまず思いつくものにアワビ類があります。アワビ類と書いたのは、日本で食材として流通しているアワビにはいくつかの種類があるからです。アワビ類には、エゾアワビ、クロアワビ、メガイアワビ、マダカアワビの四種類が含まれ、すべて栽培漁業対象種として全国各地で種苗生産、放流が行われています。この中でクロアワビは種苗生産が始まってから三十年以上たっていて、技術の進歩は著しいものがあります。

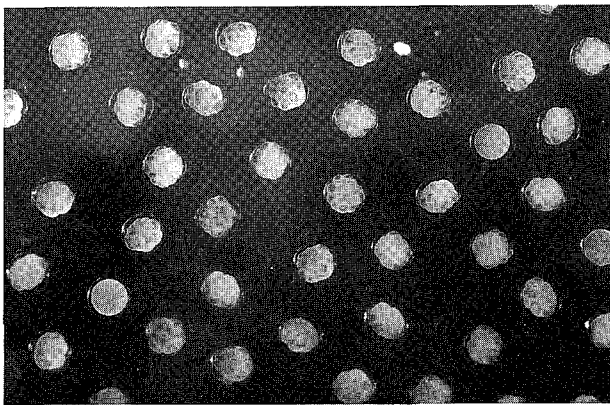
アワビの産卵期は、水温にして二十℃前後で兵庫県では十月から十一月にあたります。産卵期の親貝は、殻と足との間にある内蔵表面に、雌は緑色の、雄は乳白色の生殖腺が見えますので雌雄の識別は容易にできます。アワビは切開により取り出した卵では受精しないので、成熟した親貝に干出や紫外線照射海水に入れる等の刺激を与え産卵を促します。するとまず雄が、貝殻に山脈状に開いている



2細胞期の受精卵

呼水孔と呼ばれる穴から精子を放出します。しばらくすると雌が卵を放出しますが、この様は豪快で呼水孔を火山に例えると雄は噴火の合間にブスブスと煙を噴いているように見えますが、雌はまさにドッカーンという感じで大噴火し、その数は五〇〇万粒にもなります。受精さ

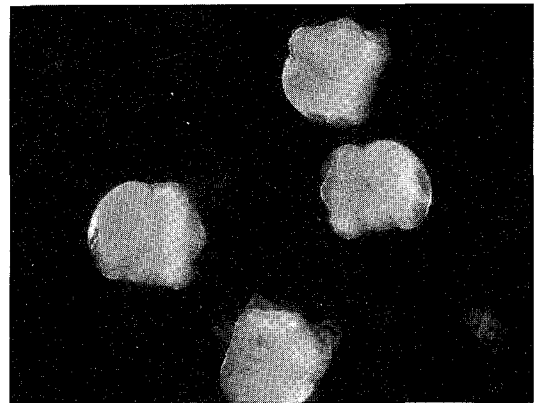
せた卵は、直径約〇・三ミリで卵割を重ねトロコフォラ幼生となって遊泳し始めます。その後貝殻が発達してペリジャー幼生となります。この間受精してから約五日間の浮遊生活中は、親からももらった卵黄で生活し餌はとりません。種苗生産機関では、この時期が過ぎると最初の餌



次第に卵割の進んだ受精卵

である珪藻類を予め付着させた板上に、幼生を移す採苗と呼ばれる作業を行います。板上に着底した幼生は、摂餌を開始しアワビらしい形になっていきます。その後次第にコンブやワカメなど大型の海藻を主食とするようになって成長を続けますが、市場サイズになるまでには、三年から四年の月日が必要とします。

当協会では珍しくアワビはすべての施設で種苗生産を行っていますので、その状況をお話しましょう。まず但馬のセンターでは、十月末から生産を行っていて、十二月十日現在採卵を継続中です。こちらでは、同じ巻き貝のサザエの生産もしていて、春に採苗したものが、現在殻高五ミリ程度に成長しています。津名事業場では、四百八十万粒採卵して五日間の

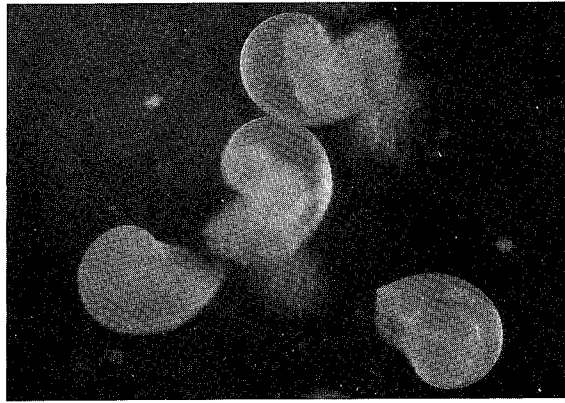


繊毛を使って泳ぎ始めたトロコフォラ幼生

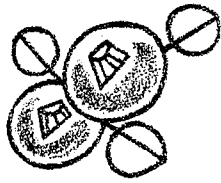
浮遊幼生期を管理し、九十二万個体採苗して現在飼育しています。二見センターでは、今年クロアワビの他にメガイアワビの種苗生産試験も実施して、共に約四十万個体を採苗しました。

本年も残すところあとわずかになりました。何かと暗いニュースが多かった一年でしたが、来年は良い年でありますようにみなさんのご多幸をお祈りします。

(兵裁協 楽 敦司)



貝殻ができ、巻き貝らしくなったベリジャー幼生



普及員だより

労働環境を診断してみましよう

休日の確保や快適環境づくりを考えた「ゆとりある農漁家生活」が提唱されています。

それらを実現するためには、健康で合理的な生活設計と、生産性の高い経営設計の両面からの視点をもつ労働・生活設計が必要になります。

◎労働・生活設計を樹てる方法として、まず、我が家の労働診断や生活診断等で実態を知ることから始めます。

診断項目には「安定した漁業経営」「健全な食生活と健康管理」「家族の役割分担」「快適な居住環境」「漁業労働と環境」等がありますがその中でも、特に労働環境の点検と改善は健康とゆとりのある生活を送るうえで重要な項目です。そこでチェック表を記しますので自分自身のチェックを行って下さい。

(評価法)

二十〜十五点 健康を考えた働き方をしています。さらに工夫してみましよう。

十四〜十点 改善の必要があります。点数の低い項目を見直して下さい。

漁業労働とその環境

診断内容	判定基準			点数
	A (2点)	B (1点)	C (0点)	
1. 冷え・ぬれ・寒さなどから身体を守る工夫	作業衣、補助衣の工夫をしている	充分とは言えないが工夫している	していない	
2. 重量物運搬の工夫	能率や労働軽減を考えた工夫している	充分とは言えないが工夫している	今後改善するところが多い	
3. 無理な作業姿勢の改善の工夫	楽な姿勢で作業できるように工夫している	充分とは言えないが工夫している	今後改善するところが多い	
4. 漁業作業が起因する疲労症状など	腰痛、肩こり、しびれ、夜尿など年中殆どない	漁繁期にはいずれかの症状がある	年間を通じていずれかの症状がある	
5. 漁繁期の主婦の労働時間(家事+漁業)	1日10時間以下	10~13時間	13時間以上が5日以上続く	
6. 漁繁期の休息時間	午前、午後で2回以上	午前又は午後1回	殆どない	
7. 疲労回復の工夫	入浴や体操などをして疲労回復をはかっている	充分とは言えないが工夫している	何もしていない	
8. 働きやすい作業場の工夫	冷え、ぬれ、騒音などの防止や作業手順などの工夫をしている	充分とは言えないが工夫している	今後改善するところが多い	
9. 衛生的な作業方法の工夫	手洗い、トイレ、更衣室や衛生的な作業衣を工夫している	充分とは言えないが工夫している	今後改善するところが多い	
10. 安全な作業条件の整備	災害防止の工夫や万一にそなえて保険をかけている	充分とは言えないが工夫している	危険な作業が多い	
				点

九点

健康を考えた働き方を考えてみましよう。

県立中央農業技術センター

普及指導室 谷本 留美



漁海況情報

兵庫県立水産試験場

平成7年11月

海況

概況 水温低下が進み、播磨灘表層の水温は、十五地点平均値で二十・一℃と平年(二十・七℃)よりもやや低い値を示している。塩分は十月よりも上昇し、表層で三十二・六二、十m層で三十二・六一、底層で三十二・六二といずれも平年(三十一・八九、三十一・九二、三十二・〇八)よりも高い値を示している。播磨灘北部では植物プランクトン発生量が少ないにもかかわらず、薄い「濁り」が認められ、透明度が低下している。栄養塩を大量に消費してノリ養殖に被害をもたらす大型珪藻コスキノデイスカスの発生量は少ない。

水温 播磨灘十m層の十五点平均値は二十・〇℃、底層も二十・〇℃でいずれも平年(二十・六、二十・七℃)よりも低い値を示している。

透明度 播磨灘北部では波浪などによる微細な粘土粒子の浮遊等が原因となり透明度が低下しているが、南部では十mを超す地点もみられる。灘十五点平均値は五・九mと平年(七m)をやや下回っている。

プランクトン 播磨灘全域で植物プランクトン発生量が少ない。大型珪藻コスキノデイスカスは表層および中層の海水一とあたり五細胞程度しかみられない。

栄養塩 播磨灘の溶存態窒素は八・一

八・三μg/lと、表中、底層とも十月より増加し、平年(七・一〜七・八μg/l)並の値となっている。溶存態リンは〇・九一〜〇・九三μg/lと平年(〇・六八〜〇・七〇μg/l)に比べやや高い値を示している。珪酸も十六・四〜十六・五μg/lと平年(九・三〜十・一μg/l)より高い値を示している。

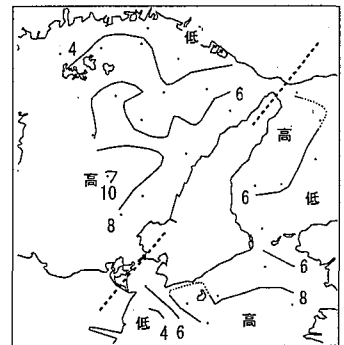
漁況

小型底曳網 明石海峡周辺を主漁場とする小型底曳網では、メイタガレイ(小)、マダコ、マダイが主に漁獲された。紀伊水道北部では、ハリイカ、シロギス、オニオコゼが主に漁獲されている。

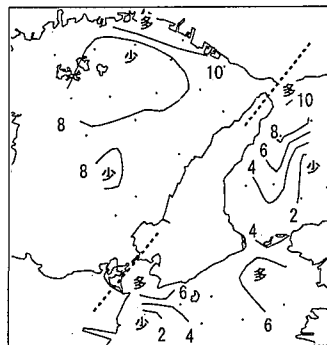
一本釣・曳縄釣 明石海峡及びその周辺海域では、引き続きタチウオの漁獲が多い。紀伊水道北部では、マジ、マルアジ、タチウオ、つばすの漁獲が多い。建網ではメバル、カサゴ、アカシタビラメ、ウマズラハギの漁獲が多い。

船曳網 大阪湾・播磨灘でのしらす漁は、一日一隻一〜二杯程度となり今漁期は終了の様相。紀伊水道周辺では、引き続き、ましらすが漁獲されている。カタクチイワシ卵・稚仔卵稚仔は、採集されなくなった。なお、卵稚仔の出現状況の記載は来年五月から再開する予定である。

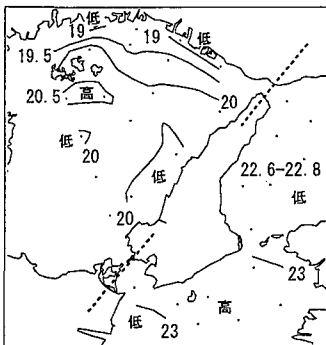
透明度 (m)



窒素濃度 (表層水、μg/l)



水温 (表層水、℃)



水温、窒素濃度および透明度の水平分布 (大阪湾および紀伊水道のデータは平成七年十月十六・十七日調査分)

海区漁業調整委員会だより

十一月二十日

兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会委員協議会を六甲荘で開催

一 栽培漁業について

栽培漁業の概要、現況について事務局より説明を行った。

二 その他

各地区ごとに決められているヒラメ、カレイ類、マダイの自主規制サイズについて意見交換を行い、この件については継続協議とすることになった。

十一月十七日

但馬海区漁業調整委員会委員協議会を但馬水産事務所会議室で開催

一 平成八年度小型いかつり漁業(県外船)の許認可取扱方針について(報告協議)

水産課から県外船の許可隻数の推移・全国と但馬におけるスルメイカ単価の動きの比較等の資料に基づき、当該方針制定についての考え方が説明された。

これに対して県外船の許可隻数が近年増加し続けていることから、陸揚実績のない船には許可をしない等の対応策の必要性について協議がなされた。

二 平成七年度全国海区漁業調整委員

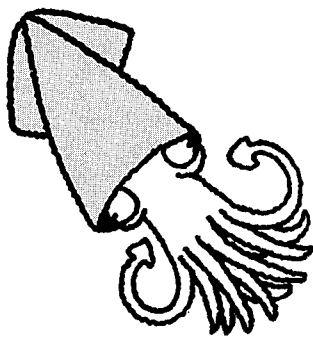
会事務局職員研修会の概要について(報告)

事務局から当該研修会の概要について、国連海洋法条約の説明内容を中心に報告。

これに対して、会長から十一月二十一日の全国漁協大会においてこれに関する特別決議・大会終了後の陳情予定等について報告がなされた。

三、その他

佐賀県の鎮西町漁協からふぐ延縄漁業の入漁希望について村瀬委員から報告があり、協議の結果、そでいか釣・あまだい釣等と漁場競合が予想されることから、但馬の漁場特性・鎮西町漁協や但馬の各漁協の意向を調査のうえ、水産課において調整することになった。

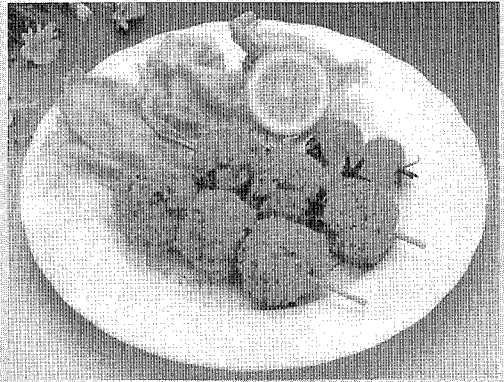


◆材料・分量◆

タチウオ(小).....2匹
 砂糖.....大さじ2
 玉ねぎ.....½個
 人参.....½個
 粉チーズ.....適量
 卵.....1個
 小麦粉.....カップ1

片栗粉.....適量
 トマト.....1個
 塩.....小さじ1
 こしょう.....少々
 コレタス.....2〜3枚
 レモン.....1個
 ピーマン.....1個
 パン粉.....適量
 揚げ油.....適量

●タチウオの串フライ●



森 美智子

◆作り方◆

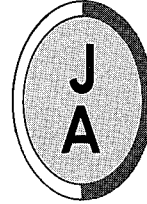
- ①タチウオは、二枚におろし、すり身にする。
 - ②玉ねぎ、人参、ピーマンをみじん切りし、片栗粉、粉チーズ、卵、砂糖、塩、こしょうを加え①を混ぜ合わせる。
 - ③丸くまるめてパン粉をつけ、三個ずつ串にさし、揚げる。
- ★すり身は、冷凍しておくといつでも使える。



旬の美味しい話 ③⑥



兵庫JCC通信
 今、JA・生協では



広がるボランティア

阪神間で共同購入事業を行っている生活協同組合都市生活は、震災後、他府県の生協からの応援者とともに、被災者の救援と地域の復興に努めています。この活動の拠点となっているのがこの八月にオープンした現地救援本部「救援センター(西宮市津門西口町)」です。このセンターは全国から寄せられたカンパなどを基に建設されたもので、他生協から救援活動に参加するボランティアの宿泊所としても利用されています。

建築面積百三㎡なかに、冷蔵冷凍庫や、通信印刷などの諸設備も完備され、組合員の救援活動を支援する現地救援本部として十分な機能を備えています。一九九六年三月末までは現地救援本部として、四月以降は組合員の活動センターとして地域復興の拠点として活用することになっています。

一方、コープこうべでは、全八地区にボラン

ふるさとの味をどうぞ
 みなみ波賀特産館



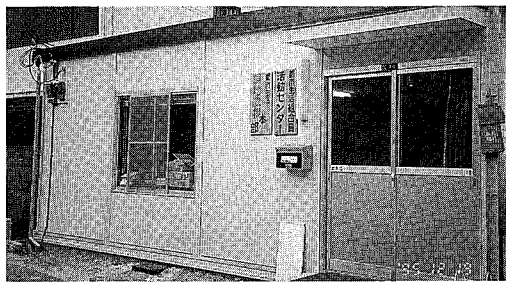
地元婦人グループが加工作業を行っている。

兵庫県の西北部JA波賀町に、町やJAハリマが出資している第三セクター、「波賀メイプル公社」が管理する農林水産物流通加工施設「みなみ波賀特産館」がオープンしました。食品や木工品などの販売のほか、コンニャクやリンゴジャムづくりを体験できる施設もあり、村おこしの拠点として期待を集めています。

全地区一斉にボランティア大会を開催しました。そこで、各地区ともそれぞれの講演会や体験発表、意見交換等をおし、ボランティア活動の成果を確認し、今後の発展を誓い合いました。

また、日曜・祝日には青空市が開かれ好評です。地元農家が丹精込めてつくった野菜や果物が出品され、公社がすべて買い取って販売するシステムになっています。地元の新鮮な野菜や果物はもちろん、波賀町が鳥取県と隣接していることもあって、鳥取県の梨やスイカなども販売されています。

時間は午前九時から午後四時まで。ドライブがてらに立ち寄ってみて下さい。



生協都市生活現地救援本部

●サンテレビの

こちら海です



大人気のイカ焼コーナーにみんな汗だく



値切りたおすりポーター



カニ目当ての観光客で大賑い

'95.11月26日放送
(第948回)

ロケだより

但馬においてヨ!
湯けむり 浜坂
かに祭り

～美方郡浜坂町より～

「存じ、兵庫県の一番北西の町…日本海に面した美方郡浜坂町の冬は「かにと出湯」の港町です。毎年六十万人もの観光客で賑わう…観光の町でもあります。十一月六日解禁の「松葉がに」今年第八回目を迎えた「湯けむり 浜坂 かに祭り」が開催されたのは、解禁から丁度一週間目の十一月十二日の日曜日。二三日悪天候が続く主催者には心配が続きましたが、開催日は本当によく晴れた小春日和の穏やかな日となりました。町を流れる岸田川にも鮭が回帰…山々は紅葉の美しい浜坂に温泉とかにを求めて大勢の方々が訪れました。浜坂町の温泉は冬の雪対策として消雪装置設置のためボーリングしていた所、暖かい湯が出て名物温泉になりました。今、温泉源に近い旧浜坂庁跡に建設された「ユートピア浜坂」は町内の人々は勿論、近在の人々で朝から賑わっています。でも、浜坂町で忘れてはならないのが、地元の人々が日本一の湯と自慢する七釜温泉です。七釜温泉は岸田川の河口から一km余り上流の、本当にひなびた温泉場です。昔、町中まで海であった頃、辺りで七つの釜で塩を炊いていたことから七釜温泉の名がついたそうです。今、その名に因んで釜風呂が大変な人気なのです。露天風呂に造られた釜風呂は周囲の景色を眺めながら少し熱めのお湯が浸れば浸かるほど肌に滑らかに馴染んで、湯上がりは誠にホコホコ快適な温泉です。この七釜温泉のすぐ近くで『風庵煮ーかこあんがま』を結ぶ、大

田英幸さんに出会ったことも印象的でした。彼のモチーフは但馬の風と波…自然…。

『かに祭り』が開催されたのは、こんな浜坂の良い季節。今年は、関西落語界の大御所・桂分枝師匠をお迎えしての「かにのオークション」が目玉、市価の三割がアップの価格のこのオークションの売り上げの中から『阪神淡路大震災』に義援金をお送り下さると云うことで、開始と同時に大変な熱気に会場は包まれました。午前中、一時間毎に三回行なわれたオークション、海産物は勿論、農産物等の即売コーナーも大人気、カニうどん・焼きイカ・但馬牛の丸焼き等の立ち食いコーナーもビール片手に大勢の観光客で上々の人気でした。今年も例年にならぬ三万五千人以上の人出で賑わった『湯けむり 浜坂 かに祭り』、今年は年明けの大震災で但馬各地の観光客も激減、でもお客さんに喜んで頂けるのを一番にと開催された出血大サービスイベントは、冬の本格観光シーズンに先駆け中々手応えのある催しとなりました。後日、浜坂町観光協会の松岡会長と広報担当の藤井さんが、わざわざ来神され、サンテレビジョンにオークションの売り上げの中から義援金をご持参下さいました。サンテレビジョンでは、浜坂町観光協会の意図が充分生かされるよう考えたいと大変喜んで受け取って下さいました。この紙面を借りて、浜坂町観光協会の皆様様にお礼申し上げます。

1995年12月10日発行 通巻 470号
昭和32年10月18日 第3種郵便物認可

発行人 兵庫県漁業協同組合連合会

発行所

兵庫県漁業協同組合連合会
(財)兵庫県水産振興基金

〒652 神戸市兵庫区中之島2-2-1 FAX 657-6685

TEL 652-3424 定価80円(本体78円)